

第3章 自然環境の保全

第1節 自然環境の概況

本市は、北部の甘木山から東部は稲荷山、上徳山、大間山、三池山、高取山等の標高180メートルから388メートルの低山地帯が連なり、隈川、堂面川、大牟田川、諏訪川の二級河川が、東部の低山地帯から西部の有明海へと流れ込んでいます。臨海部には干潟が見られるほか、有明海には、初島、三池島の人工島があります。また、市街地の中心部にある延命公園は、身近に親しめる貴重な自然とのふれあいの場となっています。

気候は温暖帯に区分され、自然植生は常緑広葉樹を主体とした照葉樹林帯に属します。また、市内各所の寺社や宅地の庭には、古くから市民に親しまれ、都市の良好な景観を形成している樹木等が見られます。これらは自然環境の保全上重要な価値があり、平成27年度の調査では、84本の巨木（保存樹に指定してあるものの中で幹の周辺が3メートル以上の樹木等）が確認されています。

地質は、新生代古第三紀層の地層が重なって分布しており、石炭産業が繁栄した本市では、古第三紀層の七浦層からたくさんの石炭が採掘されました。古第三紀層の地層の成り立ちをじかに見ることのできる貴重な稲荷層や米の山層の露頭があり、また動植物の化石が多く認められる勝立化石層などが存在しています。

第2節 貴重な動植物等

ここで紹介するのは、本市に生息する全国で個体数や種が減少し絶滅等が危惧されている貴重な動植物の一部です（この他にも多くの希少種が生息しています）。



○タケノコカワニナ

新生腹足目トゲカワニナ科。絶滅危惧ⅠA類（環境省レッドデータブック）。県内では絶滅が危惧される状況にある。殻長60ミリに達するが、小型の個体群もある。河口汽水域の流れの緩やかな泥底に生息する。別名レベックカワニナ。



○センバイアワモチ

異鰓目ドロアワモチ科。絶滅危惧Ⅰ類（環境省レッドデータブック）。全長4センチ、汽水域のヨシ原に近い泥干潟や転石の下などにすむ。生息環境である河川等の汽水域の開発による消失などで個体数が激減している。



○カスミサンショウウオ

有尾目サンショウウオ科。絶滅危惧Ⅱ類（環境省レッドデータブック）。最大全長13センチほど。環境が変わらなければ毎年同じ場所で産卵が行なわれる。幼生は4ヶ月ほどで変態し、上陸後は周辺の雑木林や竹林に分散し土壌動物を食べて生活する。日本固有種。

第3節 自然環境調査及び保全

本市には、豊かな自然が多く残されているものの、宅地開発や生活排水の流入等の人間活動によって自然環境の変化や生物種の喪失が危惧されています。また、国外や国内の他地域から意図的・非意図的に外来種が導入されることにより、在来種に様々な影響が生じています。

本市では、自然環境の保全を重要な課題の一つと位置づけ、自然環境に関する調査を実施し、自然環境保全の基礎資料としています。

1 自然環境調査

本市では、平成11、12年度に全市的な自然環境調査を行い、報告書を出しています。

その報告書以降は、本市の自然環境データの蓄積、自然環境変化のモニタリングとして、平成15年度から毎年度、対象地域を決定し、グリーンセンサス（定期的な自然環境調査）を行っています。

これまでに実施した調査地域は表3-3-1のとおりです。調査結果は、自然環境保全の基礎資料とするとともに市民の啓発に資するため、報告書にまとめて、市の情報公開センターで公表するとともに市のホームページでも公開しています。



大牟田市自然環境調査報告書

表3-3-1 調査地域

年度	調査地域
H29-30	三池山
R01	延命公園
R02	未実施
R03	甘木山
R04	未実施

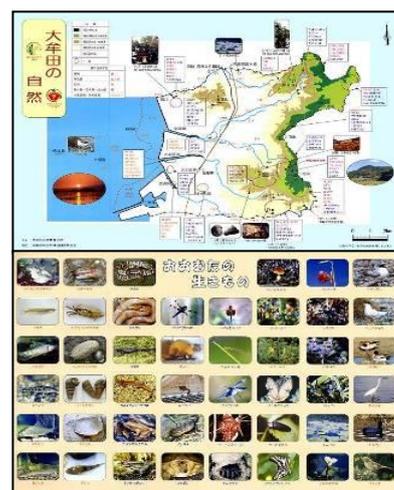
2 自然環境の保全

(1) 開発行為に対する意見等

都市計画法に基づく開発行為について、開発事業が自然環境に与える影響を最小化するため、開発を行う者に対して、自然環境の保全を図るよう意見書による指導を行っています。

(2) 自然観察用マップ「大牟田の自然」の配布

本市は、山、川、海と自然に恵まれた地域で、様々な生き物が生息しています。そこで、市民に自然環境に目を向けてもらうため、どこにどのような生き物が生息しているかを記したマップを希望者に配布しています。



大牟田の自然

(3) その他の保全施策

ア 鳥獣保護区

野生鳥獣の保護繁殖を図ることを目的として、本市においては、次の2区域を県が鳥獣保護区として指定し、狩猟による鳥獣の捕獲を禁止しています(表 3-3-2)。

表 3-3-2 鳥獣保護区の内容

鳥獣保護区名称	面積	期間	鳥獣生息状況
甘木山 鳥獣保護区	555ha	平成 24 年 11 月 15 日から 令和 4 年 11 月 14 日まで	(鳥類) カイツブリ、ゴイサギ、メジロ、コゲラ等 約 34 種 (獣類) ノウサギ、タヌキ、イノシシ等
三塚山 鳥獣保護区	585ha	令和 3 年 11 月 15 日から 令和 13 年 11 月 14 日まで	(鳥類) カイツブリ、ツグミ、メジロ、ダイサギ等約 27 種 (獣類) ノウサギ、タヌキ、イノシシ等

イ 「緑の基本計画」に基づく施策の展開

緑は、良好な景観を形成し、都市の気象緩和や生物の生息・生育空間の保全に資するとともに、身近に親しめる自然とのふれあいの場など多様な機能を有しています。

本市では、令和 3 年 3 月に緑が持つ機能の重要性を認識し、緑を市民共有の財産として守り育てていくために、緑を共に守る、緑を共に活用する、緑と共に生きるを基本方針とする「緑の基本計画」を改定しました。

この実施計画に掲げる緑化施策として、緑化啓発イベントである「よみがえる水と緑の環境フェア」を開催し緑化意識の高揚を図っています。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見送りました。

また、緑豊かで快適な都市環境を確保するために「大牟田市緑化の推進及び樹木等の保存に関する条例」に基づき、113 本(令和 4 年度末現在)の保存樹の指定を行うとともに「まちの美^{みりよくか}緑花ボランティア制度」などを活用し、市民との協働による都市景観の向上に努めました。

環境保全に関する資料

1 大気	60
(1) 自動測定機による大気環境測定結果	60
(2) 浮遊粉じん中の重金属測定結果	62
(3) 有害大気汚染物質測定結果	63
(4) 大気汚染防止法等に基づく届出状況	64
2 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出状況	64
3 水質	65
(1) 補助地点における河川の水質調査結果	65
(2) 流入水路（生活排水）の水質調査結果	67
(3) 大牟田エコタウン雨水調整池調査結果	67
4 騒音・振動	68
(1) 騒音規制法に基づく特定施設の届出状況	68
(2) 振動規制法に基づく特定施設の届出状況	68
(3) 福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例に基づく 騒音に係る特定施設の届出状況	68
(4) 騒音規制法及び振動規制法に基づく特定建設作業の届出状況	69
(5) 道路交通振動測定結果	69
(6) 自動車騒音面的評価結果	70
(7) 一般地域の環境騒音測定結果	71
5 環境保全に関する主な出来事	71

1 大気

(1) 自動測定機による大気環境測定結果

ア 二酸化硫黄

(令和4年度)

	有効測定日数	測定時間	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合				日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合				環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数
			年	時間	ppm	%	日	%	ppm	ppm	
国設大牟田	361	8639	0.001	0	0.0	0	0.0	0.042	0.004	無	0
新地	365	8694	0.001	0	0.0	0	0.0	0.030	0.003	無	0
七浦	365	8633	0.001	0	0.0	0	0.0	0.026	0.004	無	0
橘	364	8681	0.001	0	0.0	0	0.0	0.026	0.004	無	0

イ 二酸化窒素

(令和4年度)

	有効測定日数	測定時間	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合				1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合				日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合				日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数
			年	時間	ppm	%	時間	%	日	%	日	%	ppm	日			
国設大牟田	362	8621	0.008	0.068	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.020	0			
新地	364	8696	0.011	0.071	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.024	0			
橘	365	8697	0.005	0.044	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.012	0			

ウ 一酸化窒素・窒素酸化物

(令和4年度)

	有効測定日数	測定時間	(年)平均値	1時間値の最高値	日平均値の98%値	平均値におけるNO ₂ /(NO+NO ₂)	
						ppm	%
国設大牟田	362	8621	0.003 0.011	0.208 0.270	0.016 0.037	69.3	
新地	364	8696	0.010 0.021	0.221 0.277	0.036 0.060	52.7	
橘	365	8697	0.001 0.005	0.057 0.081	0.003 0.014	88.5	

※ 上段：一酸化窒素 下段：窒素酸化物

エ 一酸化炭素

(令和4年度)

	有効測定日数	測定時間	8時間値が20ppmを超えた回数とその割合				日平均値が10ppmを超えた日数とその割合				環境基準の長期的評価による日平均値が10ppm以上となった日数	
			年	回	%	日	%	ppm	ppm			
国設大牟田	364	8692	0.2	0	0.0	0	0.0	3.0	0.4	無	0	0

オ 浮遊粒子状物質

(令和4年度)

	1時間値が 日平均値が 日平均値が0.10 環境基準の長期										
	有効測定(年)		0.20mg/m ³ を		0.10mg/m ³ を		1時間日平均値		mg/m ³ を超えた日		環境基準の長期
	測定日数	時間	時間	%	日	%	最高値	除外値	が2日以上連続	的評価による日	
日	時間	mg/m ³	時間	%	日	%	mg/m ³	mg/m ³	有・無	日	
国設大牟田	355	8542	0.013	0	0.0	0	0.0	0.070	0.029	無	0
新地	365	8747	0.018	0	0.0	0	0.0	0.076	0.036	無	0
七浦	359	8618	0.017	0	0.0	0	0.0	0.091	0.036	無	0
橘	365	8740	0.015	0	0.0	0	0.0	0.079	0.034	無	0

カ 微小粒子状物質

(令和4年度)

	日平均値が 98%値評価に										
	有効測定(年)		日平均値		35.0μg/m ³ を		1時間値		日平均値		よる日平均値
	測定日数	時間	時間	%	日	%	最高値	の98%値	が35.0μg/m ³		
日	時間	μg/m ³	μg/m ³	日	%	μg/m ³	μg/m ³	日	を		
国設大牟田	361	8685	11.6	39.7	1	0.3	51	26.6	0	を超えた日数	
新地	365	8739	11.5	45.4	2	0.5	60	25.5	0		

キ 光化学オキシダント

(令和4年度)

	昼間の1時間 昼間の1時間 昼間の日										
	昼間		昼間測定		昼間の1		値が0.06ppm		値が0.12ppm		昼間の日
	測定日数	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間		
日	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間		
国設大牟田	365	5455	0.032	53	253	0	0	0.084	0.046		
七浦	365	5460	0.030	44	204	0	0	0.084	0.043		
橘	365	5455	0.033	54	234	0	0	0.089	0.045		

※ 昼間：午前5時から午後8時までの間（6時から20時までの1時間値が評価対象となる。）

ク 炭化水素

(令和4年度)

	午前6時から9時までの3時間における											
	測定時間		項目(年)		測定日数(年)		3時間平均値の		3時間平均値が		3時間平均値が	
	時間	ppmC	日	ppmC	日	ppmC	ppmC	日	%	日	%	
国設大牟田	7131	CH ₄	1.96			1.99	2.24	1.28				
	7131	NMHC	0.06	298	0.08	0.30	0.00	12	4.0	0	0.0	
	7131	THC	2.03			2.07	2.46	1.34				
七浦	8681	CH ₄	1.96			1.97	2.19	1.80				
	8681	NMHC	0.11	364	0.15	0.80	0.01	94	25.8	17	4.7	
	8681	THC	2.07			2.12	2.87	1.81				

※ CH₄：メタン、NMHC：非メタン炭化水素、THC：全炭化水素

※ 単位：ppmCは炭化水素類の濃度をメタン濃度に換算したもの。（例：1ppmCのプロパン（C₃H₈）は3ppmCとなる）

ケ 気象観測結果

(令和4年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間	月平均
降雨量 (mm)	128.5	55.5	221.5	349.5	493.0	137.5	38.5	24.5	22.0	75.0	62.0	133.5	1741.0	145.1
風向 主風向(16方位) 頻度 (%)	N 21.4	NNW 11.7	SE 13.6	SE 15.7	SE 19.2	N 27.9	N 23.1	N 17.8	NW 16.9	NW 15.6	N 21.9	N 17.9	N 15.0	—
平均風速 (m/S)	2.4	1.9	2.4	2.5	2.4	2.6	1.9	1.5	1.9	1.9	1.8	1.9	2.1	—
平均温度 (℃)	17.3	21.4	25.3	29.6	30.0	26.8	20.3	17.3	9.9	機器故障	機器故障	機器故障	—	—
平均湿度 (%)	69.4	69.9	80.2	79.3	79.9	76.4	71.5	69.2	58.1	機器故障	機器故障	機器故障	—	—

※ 国設大牟田局調べ

(2) 浮遊粉じん中の重金属測定結果(ハイポリウムエアサンプラー法) (令和4年度)

調査地点	カドミウム	鉛	亜鉛及びその化合物
国設大牟田	0.46	7.0	87
新地	1.5	27	362

※ 単位: ng/m³

(3) 有害大気汚染物質測定結果

(令和4年度)

No	測定項目	環境基準等 ^(注1)	単位	一般環境	固定発生源周辺		
				国設大牟田	新地	三川地区公民館	七浦
1	アクリロニトリル	2.0**	μg/m ³	0.0078	-	-	-
2	クロロホルム	18**	μg/m ³	0.11	-	-	-
3	酸化エチレン		μg/m ³	0.049	0.054	-	0.047
4	1,2-ジクロロエタン	1.6**	μg/m ³	0.098	-	-	-
5	ジクロロメタン	150*	μg/m ³	-	-	-	0.74
6	水銀及びその化合物	40**	ng/m ³	-	2.0	2.0	2.4
7	ダイオキシン類	0.6*	pg-TEQ/m ³	0.012	0.019	-	-
8	トルエン		μg/m ³	-	-	3.4	-
9	ベンゼン	3.0*	μg/m ³	0.91	0.75	0.82	1.1
10	ベンゾ[a]ピレン		ng/m ³	0.12	-	-	-
11	ジベンゾ[a, h]アントラセン		ng/m ³	0.012	-	-	-
12	ベンゾ[b]フルオランテン		ng/m ³	0.21	-	-	-
13	ベンゾ[k]フルオランテン		ng/m ³	0.074	-	-	-
14	インデノ[1, 2, 3-c, d]ピレン		ng/m ³	0.13	-	-	-
15	ジベンゾ[a, e]ピレン		ng/m ³	0.032	-	-	-
16	ジベンゾ[a, h]ピレン		ng/m ³	0.0032	-	-	-
17	ジベンゾ[a, i]ピレン		ng/m ³	0.0061	-	-	-
18	ジベンゾ[a, l]ピレン		ng/m ³	0.030	-	-	-
19	ベンゾ[e]ピレン		ng/m ³	0.16	-	-	-
20	ベンゾ[j]フルオランテン		ng/m ³	0.095	-	-	-
21	クリセン		ng/m ³	0.20	-	-	-
22	アントラセン		ng/m ³	0.10	-	-	-
23	フェナントレン		ng/m ³	4.8	-	-	-
24	ホルムアルデヒド		ng/m ³	1.9	-	-	-
25	鉛及びその化合物		ng/m ³	9.5	-	-	-
26	カドミウム及びその化合物		ng/m ³	0.44	-	-	-

※ 国設大牟田局のデータは、環境省有害大気汚染物質モニタリング結果より転記

※ ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき実施

注1 「*」環境基準、「**」指針値（環境中の有害大気汚染による健康リスクの低減を図るための指針となる数値）

(4) 大気汚染防止法等に基づく届出状況

(令和5年3月31日現在)

項	特定施設の種類の	大気汚染防止法		電気事業法		計		
		工場	事業場	工場	事業場			
ばい煙発生施設等	1	ボイラー	43	24	9		76	
	3	焙焼炉・焼結炉・煅焼炉	1				1	
	5	溶解炉	10				10	
	6	金属加熱炉	3				3	
	9	焼成炉・溶融炉	5				5	
	10	反応炉・直火炉	8				8	
	11	乾燥炉	12	4			16	
	13	廃棄物焼却炉	1	5			6	
	14	銅・鉛・亜鉛の焙焼炉等	9				9	
	19	塩素反応施設等	21				21	
	29	ガスタービン	2		1	4	7	
	30	ディーゼル機関	9	22	5	24	60	
	31	ガス機関	2			1	3	
			ばい煙発生施設等施設合計	126	55	15	29	225
			ばい煙発生施設等設置工場等数	39	21	6	24	90
排出施設 VOC	3	塗装の用に供する乾燥施設	1				1	
		VOC排出施設合計	1				1	
		VOC排出施設設置工場等数	1				1	
一般粉じん 発生施設	2	堆積場	4	9			13	
	3	コンベア	27	2			29	
	4	破碎機・摩砕機	9	2			11	
		一般粉じん発生施設等合計	40	13			53	
		一般粉じん発生施設等設置工場等数	4	2			6	
水銀排出施設	1	小型石炭混焼ボイラー			2		2	
	2	石炭燃焼ボイラー(上記以外)			1		1	
	5	非鉄金属製造二次施設(鉛、銅、亜鉛)	9				9	
	7	セメントの製造の用に供する焼成炉	1				1	
	8	廃棄物焼却炉	1	5			6	
		水銀排出施設等合計	11	5	3		19	
	水銀排出施設等設置工場等数	4	3	3		10		

※ 項の欄の数字はそれぞれ、大気汚染防止法施行令別表第1(ばい煙発生施設)、別表第1の2(VOC排出施設)、別表第2(一般粉じん発生施設)、大気汚染防止法施行規則別表第3の3(水銀排出施設)の上欄の番号を表す

※ 電気事業法に規定される電気工作物及びガス事業法に規定されるガス工作物に係るばい煙発生施設等は電気事業法の欄に示す

2 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出状況

(令和5年3月31日現在)

	号	特定施設の種類の	届出数	
大気基準適用施設	3	亜鉛回収用焙焼炉、焼結炉、溶鋳炉、溶解炉、乾燥炉	3	
	4	アルミニウム合金製造用焙焼炉、溶解炉、乾燥炉	1	
	5	廃棄物焼却炉	4 t/h以上	1
			2 t/h以上4 t/h未満	5
			2 t/h未満	2
		特定施設数 合計	12	
		工場・事業場数 合計	8	
水質基準対象施設	2	カーバイド法アセチレンガス洗浄施設	1	
	13	亜鉛回収施設	9	
	15	廃棄物焼却炉の廃ガス洗浄施設、 湿式集じん施設、灰の貯留施設	4	
			特定施設数 合計	14
		工場・事業場数 合計	4	

※ 号の欄の数字はそれぞれ、ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第一(大気基準適用施設)、別表第二(水質基準対象施設)の番号を表す

3 水質

(1) 補助地点における河川の水質調査結果

(令和4年度)

河川名		堂面川水系 白銀川					限川					環境基準値 A類型		
地点名(類型)		新高田橋 (A)					亀崎橋 (A)							
項目名		平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	平均値	75%値	最小	～		最大	m/n
生活環境項目	pH (水素イオン濃度)	8.0		7.6	～	8.8	1/6	7.6		7.4	～	7.8	0/6	6.5～8.5
	DO (溶存酸素量)	10		8.0	～	13	0/6	9.1		7.5	～	10	0/6	7.5 以上
	BOD (生物化学的酸素要求量)	1.3	1.2	0.9	～	2.5	1/6	2.1	2.7	1.2	～	2.9	3/6	2 以下
	SS (浮遊物質量)	3		<1	～	8	0/6	6		1	～	10	0/6	25 以下
	T-N (全窒素)	1.0		1.0	～	1.0	-/1	1.9		1.9	～	1.9	-/1	—
	T-P (全燐)	0.036		0.036	～	0.036	-/1	0.16		0.16	～	0.16	-/1	—
	大腸菌数 (CFU/100mL)	470		470	～	470	1/1	530		530	～	530	1/1	300 以下
健康項目	カドミウム				～						～			0.003 以下
	全シアン				～						～			不検出
	鉛				～						～			0.01 以下
	6価クロム				～						～			0.05 以下
	ひ素				～						～			0.01 以下
	総水銀				～						～			0.0005 以下
	ジクロロメタン				～						～			0.02 以下
	四塩化炭素				～						～			0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン				～						～			0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン				～						～			0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン				～						～			0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン				～						～			1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン				～						～			0.006 以下
	トリクロロエチレン				～						～			0.01 以下
	テトラクロロエチレン				～						～			0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン				～						～			0.002 以下
	チウラム				～						～			0.006 以下
	シマジン				～						～			0.003 以下
チオベンカルブ				～						～			0.02 以下	
ベンゼン				～						～			0.01 以下	
セレン				～						～			0.01 以下	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素				～						～			10 以下	
ふっ素				～						～			0.8 以下	
ほう素				～						～			1 以下	
1,4-ジオキサン				～						～			0.05 以下	
その他の項目	電気伝導度 (mS/m)	16		11	～	18	-/6	21		19	～	23	-/6	—
	透視度 (cm)	92		76	～	>100	-/6	85		60	～	>100	-/6	—

河川名		諏訪川					諏訪川					環境基準値 A類型		
地点名(類型)		白井橋 (A)					教楽橋 (A)							
項目名		平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	平均値	75%値	最小	～		最大	m/n
生活環境項目	pH (水素イオン濃度)	7.8		7.7	～	7.9	0/6	7.9		7.7	～	8.1	0/6	6.5～8.5
	DO (溶存酸素量)	8.6		7.1	～	10	2/6	9.0		7.6	～	10	0/6	7.5 以上
	BOD (生物化学的酸素要求量)	1.3	1.1	0.5	～	3.6	1/6	1.1	1.4	0.5	～	2.0	0/6	2 以下
	SS (浮遊物質量)	11		7	～	21	0/6	52		2	～	280	1/6	25 以下
	T-N (全窒素)	1.5		1.5	～	1.5	-/1	1.5		1.5	～	1.5	-/1	—
	T-P (全燐)	0.087		0.087	～	0.087	-/1	0.056		0.056	～	0.056	-/1	—
	大腸菌数 (CFU/100mL)	320		320	～	320	1/1	810		810	～	810	1/1	300 以下
健康項目	カドミウム				～						～			0.003 以下
	全シアン				～						～			不検出
	鉛				～						～			0.01 以下
	6価クロム				～						～			0.05 以下
	ひ素				～						～			0.01 以下
	総水銀				～						～			0.0005 以下
	ジクロロメタン				～						～			0.02 以下
	四塩化炭素				～						～			0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン				～						～			0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン				～						～			0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン				～						～			0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン				～						～			1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン				～						～			0.006 以下
	トリクロロエチレン				～						～			0.01 以下
	テトラクロロエチレン				～						～			0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン				～						～			0.002 以下
	チウラム				～						～			0.006 以下
	シマジン				～						～			0.003 以下
チオベンカルブ				～						～			0.02 以下	
ベンゼン				～						～			0.01 以下	
セレン				～						～			0.01 以下	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素				～						～			10 以下	
ふっ素				～						～			0.8 以下	
ほう素				～						～			1 以下	
1,4-ジオキサン				～						～			0.05 以下	
その他の項目	電気伝導度 (mS/m)	19		15	～	22	-/6	18		15	～	19	-/6	—
	透視度 (cm)	47		33	～	61	-/6	59		4	～	>100	-/6	—

河川名		堂面川水系 長溝川					堂面川					環境基準値 B類型		
地点名(類型)		前田橋 (B)					田町橋 (B)							
項目名		平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	平均値	75%値	最小	～		最大	m/n
生活環境項目	pH (水素イオン濃度)	7.8		7.4	～	8.1	0/6	7.6		7.5	～	7.8	0/6	6.5～8.5
	DO (溶存酸素量)	8.6		5.7	～	10	0/6	8.8		7.2	～	10	0/6	5 以上
	BOD (生物化学的酸素要求量)	2.0	2.5	1.2	～	3.0	0/6	1.3	1.5	0.8	～	1.7	0/6	3 以下
	SS (浮遊物質量)	3		1	～	7	0/6	2		<1	～	4	0/6	25 以下
	T-N (全窒素)	1.7		1.7	～	1.7	-/1	0.85		0.85	～	0.85	-/1	—
	T-P (全リン)	0.17		0.17	～	0.17	-/1	0.067		0.067	～	0.067	-/1	—
	大腸菌数 (CFU/100mL)	4,200		4,200	～	4,200	1/1	700		700	～	700	0/1	1,000 以下
	カドミウム	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1				～			0.003 以下
健康項目	全シアン	<0.1		<0.1	～	<0.1	0/1				～			不検出
	鉛	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1				～			0.01 以下
	6価クロム	<0.02		<0.02	～	<0.02	0/1				～			0.05 以下
	ひ素	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1				～			0.01 以下
	総水銀	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1				～			0.0005 以下
	ジクロロメタン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～			0.02 以下
	四塩化炭素	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1				～			0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	<0.0004		<0.0004	～	<0.0004	0/1				～			0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～			0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004		<0.004	～	<0.004	0/1				～			0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1				～			1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1				～			0.006 以下
	トリクロロエチレン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1				～			0.01 以下
	テトラクロロエチレン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1				～			0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1				～			0.002 以下
	チウラム	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1				～			0.006 以下
	シマジン	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1				～			0.003 以下
	チオベンカルブ	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～			0.02 以下
	ベンゼン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1				～			0.01 以下
	セレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～			0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	1.2		1.2	～	1.2	0/1				～			10 以下	
ふっ素	<0.2		<0.2	～	<0.2	0/1				～			0.8 以下	
ほう素	0.060		0.060	～	0.060	0/1				～			1 以下	
1,4-ジオキサン	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1				～			0.05 以下	
その他の項目	電気伝導度 (mS/m)	28		22	～	31	-/6	21		20	～	22	-/6	—
	透視度 (cm)	>100		>100	～	>100	-/6	>100		>100	～	>100	-/6	—

河川名		大傘田川					環境基準値 B類型	
地点名(類型)		七浦橋 (B)						
項目名		平均値	75%値	最小	～	最大		m/n
生活環境項目	pH (水素イオン濃度)	8.3		7.7	～	8.9	2/6	6.5～8.5
	DO (溶存酸素量)	11		8.1	～	13	0/6	5 以上
	BOD (生物化学的酸素要求量)	3.1	3.9	1.8	～	5.8	2/6	3 以下
	SS (浮遊物質量)	8		2	～	20	0/6	25 以下
	T-N (全窒素)	4.0		4.0	～	4.0	-/1	—
	T-P (全リン)	0.61		0.61	～	0.61	-/1	—
	大腸菌数 (CFU/100mL)	390		390	～	390	0/1	1,000 以下
	カドミウム	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1	0.003 以下
健康項目	全シアン	<0.1		<0.1	～	<0.1	0/1	不検出
	鉛	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1	0.01 以下
	6価クロム	<0.02		<0.02	～	<0.02	0/1	0.02 以下
	ひ素	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1	0.01 以下
	総水銀	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1	0.0005 以下
	ジクロロメタン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1	0.02 以下
	四塩化炭素	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	<0.0004		<0.0004	～	<0.0004	0/1	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1	0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004		<0.004	～	<0.004	0/1	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1	0.006 以下
	トリクロロエチレン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1	0.01 以下
	テトラクロロエチレン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1	0.002 以下
	チウラム	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1	0.006 以下
	シマジン	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1	0.003 以下
	チオベンカルブ	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1	0.02 以下
	ベンゼン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1	0.01 以下
	セレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	3.5		3.5	～	3.5	0/1	10 以下	
ふっ素	0.75		0.75	～	0.75	0/1	0.8 以下	
ほう素	0.22		0.22	～	0.22	0/1	1 以下	
1,4-ジオキサン	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1	0.05 以下	
その他の項目	電気伝導度 (mS/m)	57		35	～	79	-/6	—
	透視度 (cm)	77		43	～	>100	-/6	—

河川名		堂面川水系白銀支流 手鎌南川					堂面川水系白銀支流 手鎌野間川					環境基準値 B類型		
地点名(類型)		甘木橋 (B準用)					安入寺橋 (B準用)							
項目名		平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	平均値	75%値	最小	～		最大	m/n
生活環境項目	pH(水素イオン濃度)	7.9		7.5	～	8.7	1/6	8.0		7.6	～	8.3	0/6	6.5～8.5
	DO(溶存酸素量)	8.3		4.7	～	12	1/6	9.4		6.9	～	12	0/6	5 以上
	BOD(生物化学的酸素要求量)	3.7	4.3	2.4	～	4.7	5/6	2.7	3.0	1.8	～	3.9	1/6	3 以下
	SS(浮遊物質量)	6		3	～	12	0/6	9		3	～	22	0/6	25 以下
	T-N(全窒素)	2.5		2.5	～	2.5	-/1	1.4		1.4	～	1.4	-/1	—
	T-P(全燐)	0.30		0.30	～	0.30	-/1	0.12		0.12	～	0.12	-/1	—
	大腸菌数(CFU/100mL)	2,200		2,200	～	2,200	1/1	130		130	～	130	0/1	1,000 以下
健康項目	カドミウム	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1				～		0/1	0.003 以下
	全シアン	<0.1		<0.1	～	<0.1	0/1				～		0/1	不検出
	鉛	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1				～		0/1	0.01 以下
	6価クロム	<0.02		<0.02	～	<0.02	0/1				～		0/1	0.05 以下
	ひ素	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1				～		0/1	0.01 以下
	総水銀	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1				～		0/1	0.0005 以下
	ジクロロメタン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～		0/1	0.02 以下
	四塩化炭素	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1				～		0/1	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	<0.0004		<0.0004	～	<0.0004	0/1				～		0/1	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～		0/1	0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004		<0.004	～	<0.004	0/1				～		0/1	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1				～		0/1	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1				～		0/1	0.006 以下
	トリクロロエチレン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1				～		0/1	0.01 以下
	テトラクロロエチレン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1				～		0/1	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1				～		0/1	0.002 以下
	チウラム	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1				～		0/1	0.006 以下
	シマジン	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1				～		0/1	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～		0/1	0.02 以下	
ベンゼン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1				～		0/1	0.01 以下	
セレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～		0/1	0.01 以下	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	2.0		2.0	～	2.0	0/1				～		0/1	10 以下	
ふっ素	<0.2		<0.2	～	<0.2	0/1				～		0/1	0.8 以下	
ほう素	0.080		0.080	～	0.080	0/1				～		0/1	1 以下	
1,4-ジオキサン	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1				～		0/1	0.05 以下	
その他の項目	電気伝導度(mS/m)	27		21	～	30	-/6	47		20	～	92	-/6	—
	透視度(cm)	70		43	～	>100	-/6	64		32	～	>100	-/6	—

(2) 流入水路(生活排水)の水質調査結果

(令和4年度)

調査場所	七夕橋下流水路<堂面川>				御幸返橋下流水路<堂面川>				中牟田川<白銀川>				亀崎橋上流水路<隈川>			
	平均値	最小	～	最大	平均値	最小	～	最大	平均値	最小	～	最大	平均値	最小	～	最大
pH(水素イオン濃度)	7.6	6.8	～	7.9	9.1	8.4	～	9.8	7.7	7.3	～	8.0	8.0	7.3	～	8.8
DO(溶存酸素量)	8.4	5.2	～	10	13.0	11	～	14	9.7	8.1	～	12	9.5	7.7	～	12
BOD(生物化学的酸素要求量)	3.7	2.5	～	6.5	5.7	3.8	～	8.5	2.3	1.4	～	4.1	3.1	1.8	～	6.0
SS(浮遊物質量)	6.3	1	～	15	2	2	～	2	1.5	<1	～	2	1.8	<1	～	3
T-N(全窒素)	2.5	2.5	～	2.5	4.0	4.0	～	4.0	3.9	3.9	～	3.9	3.8	3.8	～	3.8
T-P(全燐)	0.13	0.13	～	0.13	0.40	0.40	～	0.40	0.52	0.52	～	0.52	0.57	0.39	～	0.39
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5
同上(動植物油脂類)	<0.5	<0.5	～	<0.5	0.8	0.8	～	0.8	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5

(3) 大牟田エコタウン雨水調整池調査結果

(令和4年度)

地点名	エコタウン調整池				環境基準値	
	平均値	最小	～	最大		
生活環境項目	pH(水素イオン濃度)	9.0	8.8	～	9.1	7.0～8.3(海域C)
	DO(溶存酸素量)	8.4	7.9	～	8.8	2 以上(海域C)
特殊項目	溶解性鉄	<0.1	<0.1	～	<0.1	—
	溶解性マンガ	<0.01	<0.01	～	<0.01	—
健康項目	カドミウム	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	0.003 以下
	鉛	<0.005	<0.005	～	<0.005	0.01 以下
	全シアン	<0.1	<0.1	～	<0.1	検出されないこと
	ひ素	<0.005	<0.005	～	<0.005	0.01 以下
	6価クロム	<0.02	<0.02	～	<0.02	0.05 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	0.0005 以下	

備考

- (1) 測定回数(年間) : 補助地点における河川調査6回、流入水路調査4回、大牟田エコタウン雨水調整池調査2回
- ※ 単位 : 透視度、pH、大腸菌数、電気伝導度以外はmg/L
- ※ m/n : 環境基準に適合しない日数/総測定日数
- ※ 75%値 : 測定した年間データのうち、値の小さい方から75%の範囲にある最高値をいう 河川の水質調査は年間6回測定を行っているため、値の小さい方から5番目のデータを75%値とする
- ※ 測定値は、有効数字を2桁とし、3桁目以下を切り捨てる(ただし、pHについては、小数第2位を四捨五入し、小数点以下1桁までとする) また、定量下限値の桁を下回る桁については切り捨てる
- ※ 平均値は、3桁目を四捨五入し、有効数字2桁又は定量下限値を下回る桁を四捨五入する 平均値の算出にあたっては、定量下限値未満は定量下限値の値を用いる

